

## ま え が き

佐賀県有明海は湾の最奥部に位置して、特有の海象変化を示しており、その中におけるノリの生育や養殖形態は、他の海域と異っている点が多い。殊に病害関係は、そのまん延状況や被害規模等において特異なものがある。また、閉鎖的の海域の宿命とも言うべき漁場環境問題は、今後益々増大するものと思われ、ノリ養殖は多くの問題を有している。

当水産試験場は、地域水産業振興のための各種研究・調査・指導を行なってきたおり、ノリ養殖については、単年毎の問題に対処する一方、基礎的・恒久的課題の究明に努めてきたところである。今回は、これらノリ関係試験研究のうち、昭和53年度以降今日までに取りまとめたものを報告する。

ノリは、今や全国的に需要量を超えての生産がいつでも可能な状態にあり、経営の安定、向上のためには、上質ノリの生産を計らなければならない。この報告がその推進に寄与すると共に、今後の研究に貢献できれば幸いである。

昭和58年3月

佐賀県有明水産試験場長 岩 永 一 也

# 佐賀県有明水産試験場報告

第8号 昭和58年3月

## 目次

まえがき

ノリの生長と窒素代謝におよぼす栄養と流速条件の影響 ..... 1

馬場裕文・宮崎征男

ノリ壺状菌の生理・生態に関する研究一Ⅱ ..... 21

中尾義房・山下康夫・小野原隆幸

島崎大昭・川村嘉応

有明海湾奥部ノリ漁場における細菌の季節的消長（短報） ..... 89

川村嘉応